

行事報告

勉強会「障害者差別解消法を学ぼう」に参加して

大阪頸髄損傷者連絡会 I・M

兵庫の皆さん、こんにちは、大阪頸損のIと申します。宜しくお願いします。土田さんの指名を受けて縦横夢人初投稿です。土田さんは大阪の役員会や行事等に積極的に来て下さっていて、役員会では僕の隣の席(位置)ですので色々話をさせて貰っています。僕は今年の初めに膀胱ろうにしたのですが、その時もお世話になりましたし大阪の機関紙の原稿もちょくちょく書いて貰っていてすごく助かっています。

僕は動きが左C4、右C5Bで受傷箇所はC6、2000年1月に建設関係の仕事中に高所から転落しました、怪我する前に結婚していて子供はいなくて猫がいます、大阪と京都の府境の枚方市でマンション暮らし。環境制御装置、電動車イス等を利用、仕事はしていません、労災年金受給で、ある程度、時間的にも余裕がありまして、大阪頸損で会計担当役員をさせて貰っています。僕の性格は「なるようになるさ」って感じで能天気で、強面(自分では、そう思っていない)なので、一歩外に出ても何も気にならない、怪我する前とあまり変わらないのです。以上が自己紹介なのですが、日常でコレといって不便を感じていないというのが現状で、それをふまえた上での差別解消法学習会の感想という事でお願します。そんな僕ですが僕達の偉大な先輩方の活動のおかげでの現在の状況があるという事は十分認識しております。

さて本題ですが僕は大学卒のインテリで論客(大阪、兵庫頸損にも沢山いらっしゃいますよね)とかではなく高卒のガテン系なので小難しいのはナシで気になった部分だけの感想を・・・

障害者権利条約2 基本視点

- ・われわれのことを我々抜きに決めるな
- ・障害を持たない他の者との平等
- ・保護の対象から権利の主体へ

当たり前です、僕達は子供じゃないんだから。

障害者権利条約5 社会的障壁(バリア)

僕らでいえば段差ですよ、僕は週刊誌サイズの小さいスロープを携帯していて少しの段差なら大丈夫で、それでも入れない店はハナから相手していません、無視ですね。でもチェーン店とか大きな店で皆の為に交渉しろというのであればガンガンいきますよー。

障害者権利条約6 合理的配慮

世の中お互い様ですからねえ、障害者も健常者も政治家も公務員も男も女も老いも若きも互いに敬って、ですよ。

例題として会社にスロープがなくて、面接できないです。アホですね、会社の偉い人が車イスになったらすぐ作るだろうに。

障害者権利条約8 共生社会

・自立した生活及び地域社会に受け入れられる事

住みたい所に住みたい人と、自立した生活もごくごく当たり前の話で、昔は無理やり施設にとか、恥ずかしいので自宅から出さないとか、無茶苦茶ですね、有り得ない。そういえば、車イスの僕の姿を見て変な目でジロジロと見てきた人はたいいてい老人でした、そういう時は思いきり睨み付け立ち(座り?)止まったら、ビビって逃げて行きました。決して老人虐待ではありません。正当防衛。

あとトラブった時の紛争解決の流れとか色々考えて法律を作っているのですが、皆が理解して実行できるのか、する気があるのかって問題で、根本的にあらゆる偏見や差別を無くさなければいけない。世界に目を向けてみると、イスラム過激派や、米国では肌の色の違いでの偏見、差別等ありますが、この地球に生きる全ての人々が自由に楽しく、お互いに相手の立場に立って配慮しあえる様な社会ができる事を願うばかりです。講師の障大連の細井さん、有難うございました。